



平成29年7月31日

各 位

会社名 アピックヤマダ株式会社
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
(コード番号 6300 東証二部)
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
(TEL. 026-275-2111)

(訂正) 「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年2月7日に開示いたしました「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,437	△17.2	△605	—	△571	—	△70	—
24年3月期第3四半期	7,778	△30.2	△901	—	△856	—	△1,592	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △74百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △1,697百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△5.70	—
24年3月期第3四半期	△128.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	11,126	4,262	38.3	343.06
24年3月期	10,893	4,337	39.8	348.99

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,262百万円 24年3月期 4,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	△10.4	△800	—	△760	—	△270	—	△21.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

連結業績予想の修正については、平成25年2月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	12,969,000株	24年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	542,956株	24年3月期	541,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	12,426,325株	24年3月期3Q	12,427,979株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の長期化、欧州の債務問題に加え、中国経済の減速懸念および日中関係の悪化などから経済減速の影響が深刻化してきており、企業を取り巻く環境は依然として不透明な状況で推移いたしました。

半導体業界においては、スマートフォンやタブレット端末に用いられる高機能品向けの需要が増加しましたが、パソコン、デジタル家電などに用いられる汎用半導体向けは、経済減速等の影響により需要が低調に推移したため、生産調整や設備投資抑制など上期後半から調整局面が継続しており、受注環境は引き続き厳しい状況となりました。

このような状況下、当社グループは、省エネ用半導体デバイスや車載用半導体分野を積極的に、開発・開拓を継続、推進する一方、高機能品向けなどに用いられる極薄パッケージ向けのTCM(トランスファー・コンプレッション・モールド)装置およびウェハモールド装置ならびにLED向け装置などの先端機種種の拡販を国内外に積極的に展開いたしました。

また事業構造改革・生産改革・営業改革の3つの改革(Innovation 3)を柱とした「中期経営計画」の一環として、今後の成長が見込まれる中国及び台湾についての営業、技術サポートを充実させた拡販活動をスタートしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,437百万円(前年同四半期比17.2%減)、営業損失は605百万円(前年同四半期は営業損失901百万円)、経常損失は571百万円(前年同四半期は経常損失856百万円)、四半期純損失は70百万円(前年同四半期は四半期純損失1,592百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①電子部品組立装置

電子部品組立装置につきましては、スマートフォンやタブレット端末向け分野で設備需要が旺盛となり、TCM装置、ウェハモールド装置およびLED向け装置などの新技術・新製品が受注・売上に貢献いたしました。

この結果、売上高は4,136百万円(前年同四半期比1.3%増)、セグメント損失は62百万円(前年同四半期はセグメント損失187百万円)となりました。

②電子部品

電子部品につきましては、国内外の半導体およびLEDメーカーの生産調整の影響により、主力のリードフレームの受注・売上は低調に推移しました。また、平成23年のタイ国の大規模水害により連結子会社が平成23年12月に事業停止・事業閉鎖となったため、その影響を受けて売上が前年同四半期比で大幅な減少となりました。

この結果、売上高は1,842百万円(前年同四半期比40.2%減)、セグメント損失は125百万円(前年同四半期はセグメント損失291百万円)となりました。

③その他

その他につきましては、リード加工金型およびリードフレームプレス用金型の販売を行っております。リードフレームパッケージ向けを含め設備投資が全般的に低迷しており、受注・売上ともに低調な動きとなりました。

この結果、売上高は458百万円(前年同四半期比25.0%減)、セグメント利益は47百万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、11,126百万円(前連結会計年度末は10,893百万円)となり、前連結会計年度末と比較して232百万円増加いたしました。これは主に現金および預金の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、6,863百万円(前連結会計年度末は6,556百万円)となり、前連結会計年度末と比較して306百万円増加いたしました。これは主に前受金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,262百万円(前連結会計年度末は4,337百万円)となり、前連結会計年度末と比較して74百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は38.3%(前連結会計年度末は39.8%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

半導体市況の悪化により半導体業界において、生産調整および設備投資抑制の動きが継続しており、当社の電子部品製造装置、電子部品とも受注の低迷が続いております。これらの状況を踏まえ、通期見直しを見直した結果、下記のとおり平成24年5月11日に公表した業績予想の見直しを行い、平成25年2月1日に業績予想の修正の公表をいたしました。

なお、連結においてはタイ国の大規模な洪水被害により平成23年12月に事業閉鎖した連結対象子会社のアピックヤマダ タイランド カンパニー リミテッド (以下同社という) の洪水被害に関連した保険金の一部135百万タイバーツ (340百万円) が支払われたため、既計上分と合算し200百万バーツ (503百万円) を特別利益として計上しております。なお、保険金の総額については未確定であり、確定した時点で開示いたします。

平成25年3月期 通期業績予想の修正 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成24年5月11日公表)	10,000	△290	△110	△140	△11.26
今回修正予想 (B)	8,800	△800	△760	△270	△21.73
増減額 (B - A)	△1,200	△510	△650	△130	—
増減率 (%)	△12.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	<u>9,823</u>	<u>△1,086</u>	<u>△1,024</u>	<u>△1,757</u>	<u>△141.43</u>

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において多額の営業損失を計上するとともに、タイ国で発生した洪水被害に伴う災害による損失と、事業閉鎖に伴う特別損失を計上するに至りました。当連結会計年度においても、半導体市況の停滞が予想以上に継続していることから、2期連続で多額の営業損失を計上する見込みであります。このような状況により、当社グループが将来にわたって事業活動を継続するという前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が生じております。

しかしながら、こうした状況に対処するため、引き続き「中期経営計画」に定めた改革と施策を当社グループ一丸となって推進し、既存の半導体事業の強化と新規事業の拡大を行い、経営基盤の強化を図っていく所存であります。

また、財務面に関しましては、当面の事業の遂行上、十分な手元資金を有しておりますが、引き続きメインバンク等との良好な関係を維持し、安定的かつ弾力的な資金調達を行っていく所存であります。

以上のように、当該事象又は状況を解消するための対策をとり、また業務遂行上十分な手元資金を有しているため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,245,611	3,352,592
受取手形及び売掛金	<u>2,302,461</u>	<u>1,830,360</u>
商品及び製品	<u>865,110</u>	<u>1,052,479</u>
仕掛品	1,125,924	804,209
原材料及び貯蔵品	209,165	179,809
その他	179,240	142,950
貸倒引当金	<u>△3,495</u>	<u>△2,552</u>
流動資産合計	<u>6,924,018</u>	<u>7,359,850</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,210,864	1,137,614
機械装置及び運搬具(純額)	610,493	513,160
土地	845,657	848,048
その他(純額)	135,734	127,389
有形固定資産合計	<u>2,802,749</u>	<u>2,626,212</u>
無形固定資産	133,974	118,538
投資その他の資産		
関係会社出資金	560,885	575,278
その他	493,280	465,705
貸倒引当金	<u>△21,389</u>	<u>△19,510</u>
投資その他の資産合計	<u>1,032,776</u>	<u>1,021,472</u>
固定資産合計	<u>3,969,500</u>	<u>3,766,224</u>
資産合計	<u>10,893,519</u>	<u>11,126,074</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,511,309	1,257,146
短期借入金	2,613,500	2,830,000
1年内返済予定の長期借入金	321,308	322,388
未払法人税等	10,064	8,626
賞与引当金	89,133	33,431
製品保証引当金	24,017	19,425
その他	<u>434,750</u>	<u>804,038</u>
流動負債合計	<u>5,004,082</u>	<u>5,275,054</u>
固定負債		
長期借入金	609,592	668,806
退職給付引当金	796,462	777,872
その他	146,235	141,485
固定負債合計	<u>1,552,289</u>	<u>1,588,164</u>
負債合計	<u>6,556,372</u>	<u>6,863,218</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	<u>△576,648</u>	<u>△647,486</u>
自己株式	△99,766	△99,970
株主資本合計	<u>5,161,084</u>	<u>5,090,043</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,567	△14,240
為替換算調整勘定	△817,368	△812,947
その他の包括利益累計額合計	<u>△823,936</u>	<u>△827,187</u>
純資産合計	<u>4,337,147</u>	<u>4,262,855</u>
負債純資産合計	<u>10,893,519</u>	<u>11,126,074</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,778,880	6,437,285
売上原価	6,837,518	5,431,267
売上総利益	941,361	1,006,017
販売費及び一般管理費	1,843,153	1,611,874
営業損失(△)	△901,791	△605,857
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,988	2,538
持分法による投資利益	34,320	—
為替差益	—	41,535
受取技術料	31,445	1,113
その他	58,056	55,866
営業外収益合計	126,811	101,053
営業外費用		
支払利息	46,942	56,403
為替差損	26,803	—
売上債権売却損	4,108	1,335
持分法による投資損失	—	3,390
その他	4,152	5,610
営業外費用合計	82,007	66,739
経常損失(△)	△856,986	△571,543
特別利益		
固定資産売却益	44,447	55
受取保険金	—	※1 503,508
特別利益合計	44,447	503,564
特別損失		
固定資産売却損	—	213
災害による損失	※2 573,116	—
工場閉鎖損失	※3 144,145	—
特別損失合計	717,262	213
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,529,801	△68,192
法人税、住民税及び事業税	19,782	3,967
法人税等調整額	43,412	△1,323
法人税等合計	63,194	2,644
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,592,996	△70,837
四半期純損失(△)	△1,592,996	△70,837

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<u>少数株主損益調整前四半期純損失(△)</u>	<u>△1,592,996</u>	<u>△70,837</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,056	△7,672
為替換算調整勘定	△81,474	1,820
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,063	2,600
その他の包括利益合計	<u>△104,593</u>	<u>△3,250</u>
四半期包括利益	<u>△1,697,589</u>	<u>△74,088</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△1,697,589</u>	<u>△74,088</u>

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立 装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>4,083,775</u>	3,082,655	<u>7,166,431</u>	612,448	<u>7,778,880</u>
セグメント間の内部売上高又は 振替高	47,144	—	47,144	144,750	191,895
計	<u>4,130,920</u>	3,082,655	<u>7,213,576</u>	757,199	<u>7,970,775</u>
セグメント利益または損失(△)	<u>△187,727</u>	△291,285	<u>△479,012</u>	50,925	<u>△428,087</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレーム金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△479,012</u>
「その他」の区分の利益	50,925
セグメント間取引消去	351
全社費用(注)	△474,054
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△901,791</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立 装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,136,226	1,842,265	5,978,492	458,792	6,437,285
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,910	—	1,910	44,410	46,321
計	4,138,137	1,842,265	5,980,403	503,203	6,483,606
セグメント利益または損失(△)	△62,702	△125,042	△187,745	47,124	△140,620

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレーム金型の調達・販売等を行っております

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△187,745
「その他」の区分の利益	47,124
セグメント間取引消去	351
全社費用(注)	△465,588
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△605,857

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。